

平成24年度 経済連携協定に基づく受入れ説明会【第2部】

巡回訪問・相談窓口などからの 受入れ状況などについて

平成23年9月

社団法人 国際厚生事業団

1 受入れ施設の規模

(1) 看護師候補者受入れ施設

総病床数	施設数	割合
100未満	13	7.3%
101～200	55	31.1%
201～300	30	16.9%
301～400	17	9.6%
401～500	24	13.6%
501～600	19	10.7%
601以上	19	10.7%

※総病床数は、求人登録申請時の値
※平成20～23年度受入れ施設

(2) 介護福祉士候補者受入れ施設

入所定員数	施設数	割合
50未満	37	14.5%
51～100	173	67.6%
101～150	37	14.5%
151～200	6	2.3%
201以上	3	1.2%

※入所定員数は、求人登録申請時の値
※平成20～23年度受入れ施設

2 候補者について

(1) 看護師候補者

	インドネシア	フィリピン
平均年齢	H20年度 27.0歳 H21年度 26.7歳 H22年度 26.6歳 H23年度 25.9歳	H21年度 31.7歳 H22年度 31.6歳 H23年度 27.5歳

(2) 介護福祉士候補者

	インドネシア	フィリピン
平均年齢	H20年年 23.7歳 H21年度 23.5歳 H22年度 23.6歳 H23年度 23.0歳	H21年度 30.5歳 H22年度 26.7歳 H23年度 25.8歳

※看護、介護ともに平成20～23年度の受入れ実績より

3 平成23年度の主な支援

(厚生労働省・国際厚生事業団)

(1) 就労・研修開始前

(訪日後6か月間日本語研修期間中)

○受入施設対象 就労前説明会の実施

○看護・介護導入研修の実施(10日間程度)

(2) 就労・研修開始後

○相談窓口での相談対応(英語・インドネシア語対応)

○受入施設の巡回訪問(就労状況等の確認、日本語専門家による学習方法等の助言)

○看護師候補者の学習支援

- ◆受入施設における日本語学習に対する助成※1
- ◆専門日本語学習教材の配布
- ◆受験対策講座のインターネット配信
- ◆国家試験対策eラーニングの提供
- ◆過去の国家試験問題の翻訳
- ◆集合研修(模試含む)の実施
- ◆スカイプ(パソコンを利用したテレビ電話)や
学習専門家派遣による個別学習相談・指導
- ◆受入施設研修担当者会議

○介護福祉士候補者の学習支援

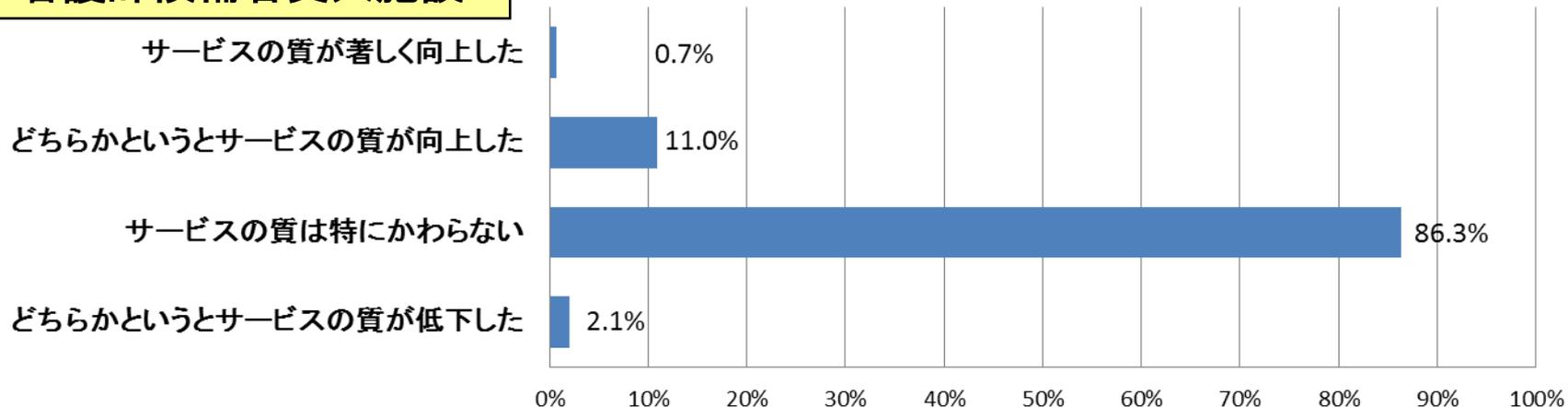
- ◆受入施設における学習全般に対する助成※1
- ◆専門日本語学習教材の配布
- ◆介護の漢字統一試験の実施
- ◆過去の国家試験問題の翻訳
- ◆研修担当者対象日本語学習説明会の実施
- ◆日本語習得、国家試験対策の集合研修、
通信添削指導、模擬試験の実施

注)※1:都道府県を通じた助成。

4 平成22年度JICWELS巡回訪問より

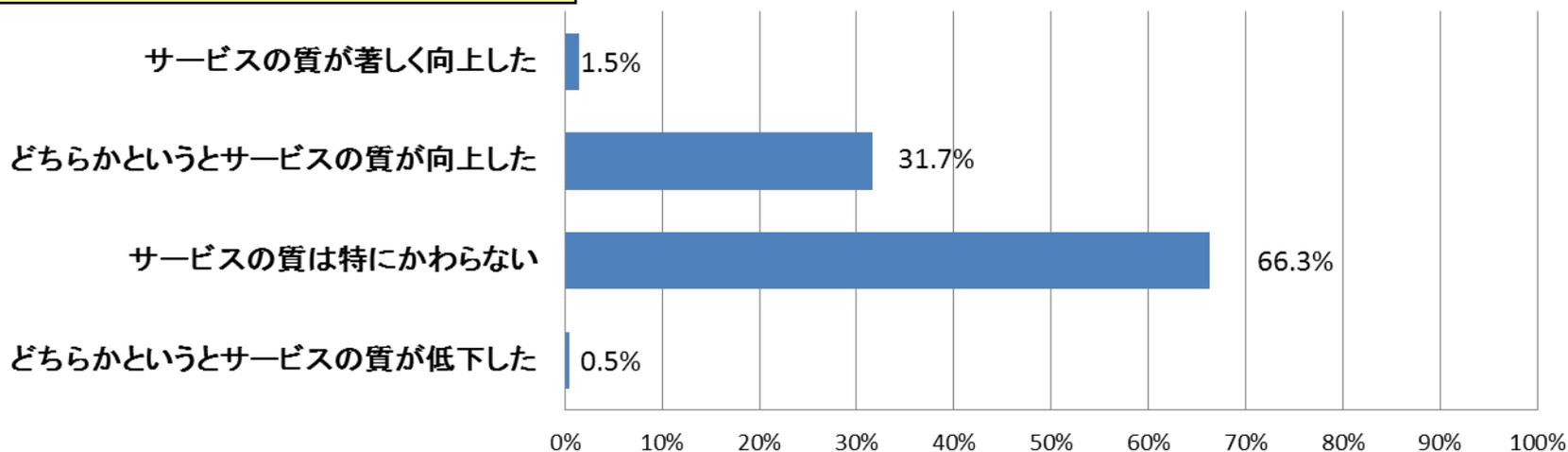
(1) 候補者が働いていることによるサービスの質の変化（労務管理担当者からの回答）

看護師候補者受入施設



【出典】22年度巡回訪問（対象）看護師候補者受入施設（146施設）

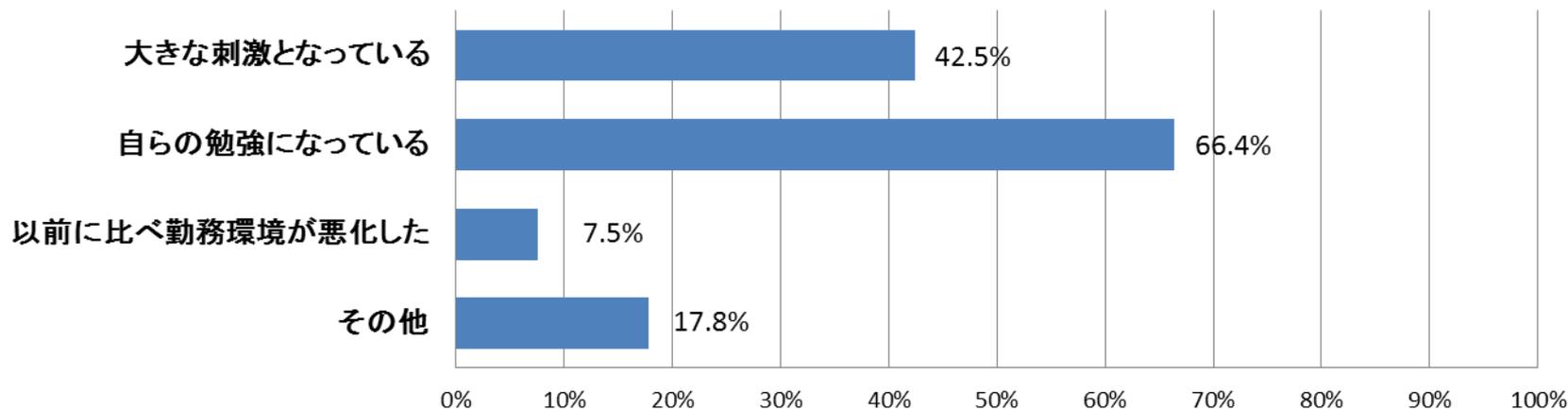
介護福祉士候補者受入施設



【出典】22年度巡回訪問（対象）介護福祉士候補者受入施設（202施設）

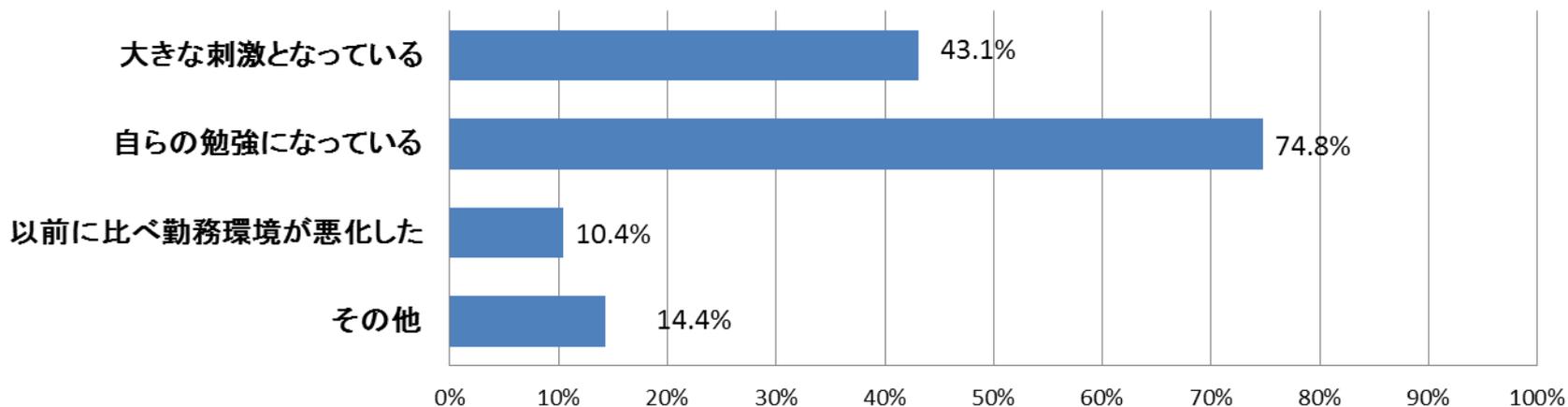
(2) 候補者受入れによる日本人職員への影響 (労務管理担当者からの回答(複数回答))

看護師候補者受入施設



【出典】22年度巡回訪問 (対象)看護師候補者受入施設(146施設)

介護福祉士候補者受入施設

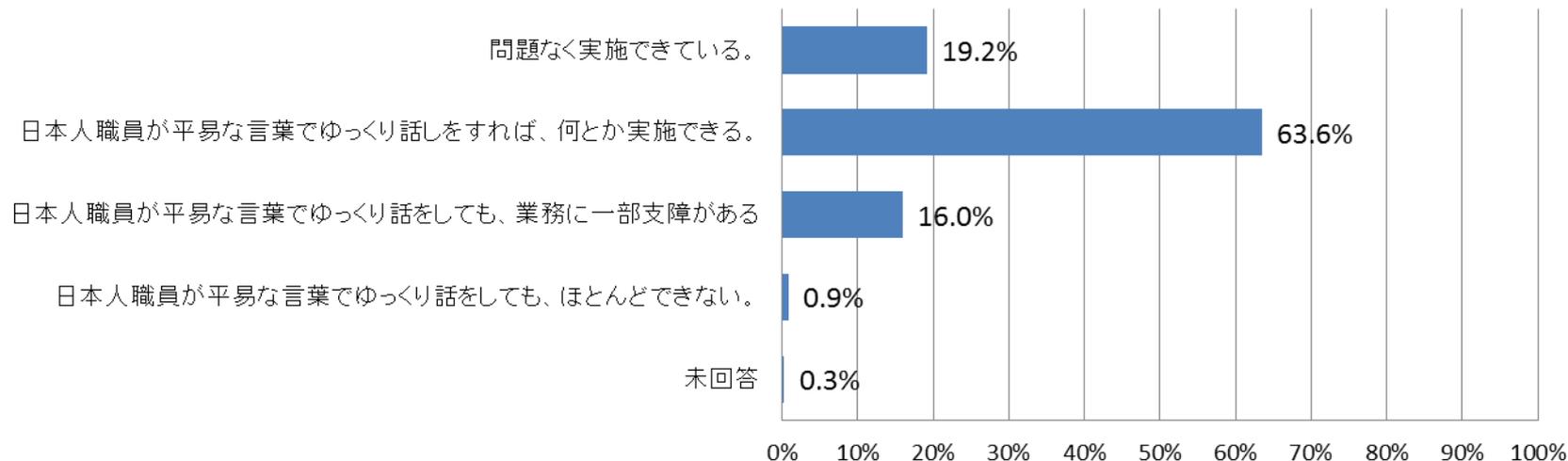


【出典】22年度巡回訪問 (対象)介護福祉士候補者受入施設(202施設)

(3) 候補者のコミュニケーション能力（研修責任者からの回答）

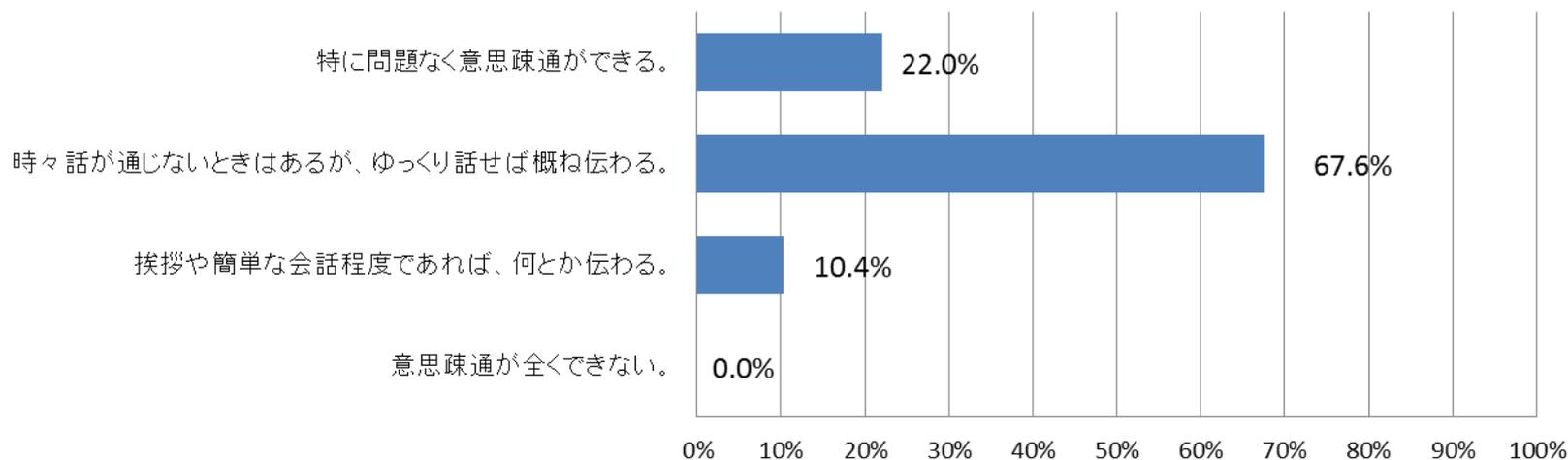
看護師候補者

※看護師等からの指示（口頭）の理解度について



【出典】22年度巡回訪問（対象）看護師候補者受入施設（146施設）（候補者343名）

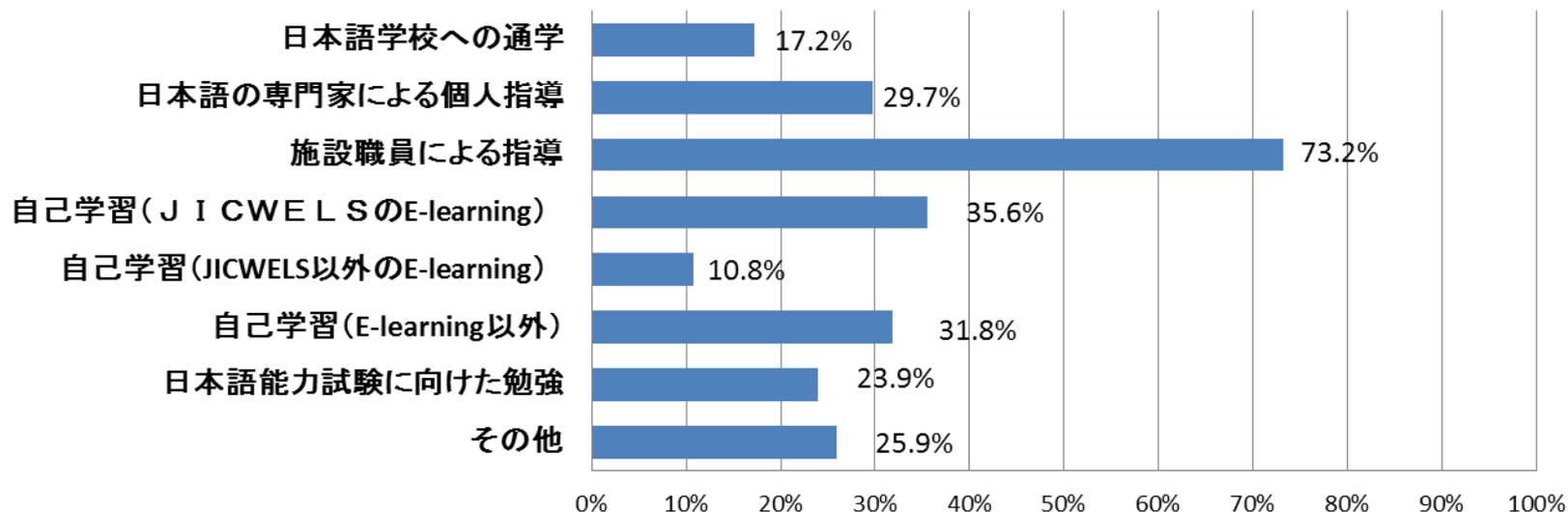
介護福祉士候補者



【出典】22年度巡回訪問（対象）介護福祉士候補者受入施設（202施設）（候補者465名）

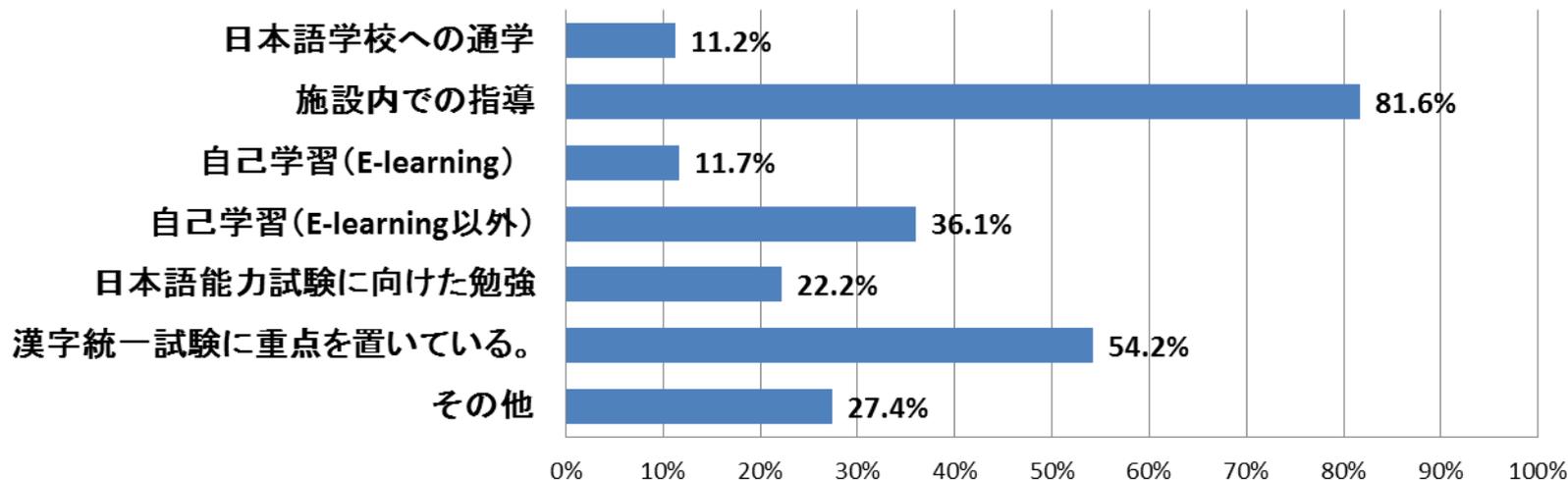
(4) 候補者の日本語学習方法（研修責任者からの回答(複数回答)）

看護師候補者



【出典】22年度巡回訪問(対象)看護師候補者受入施設(146施設)(候補者343名)

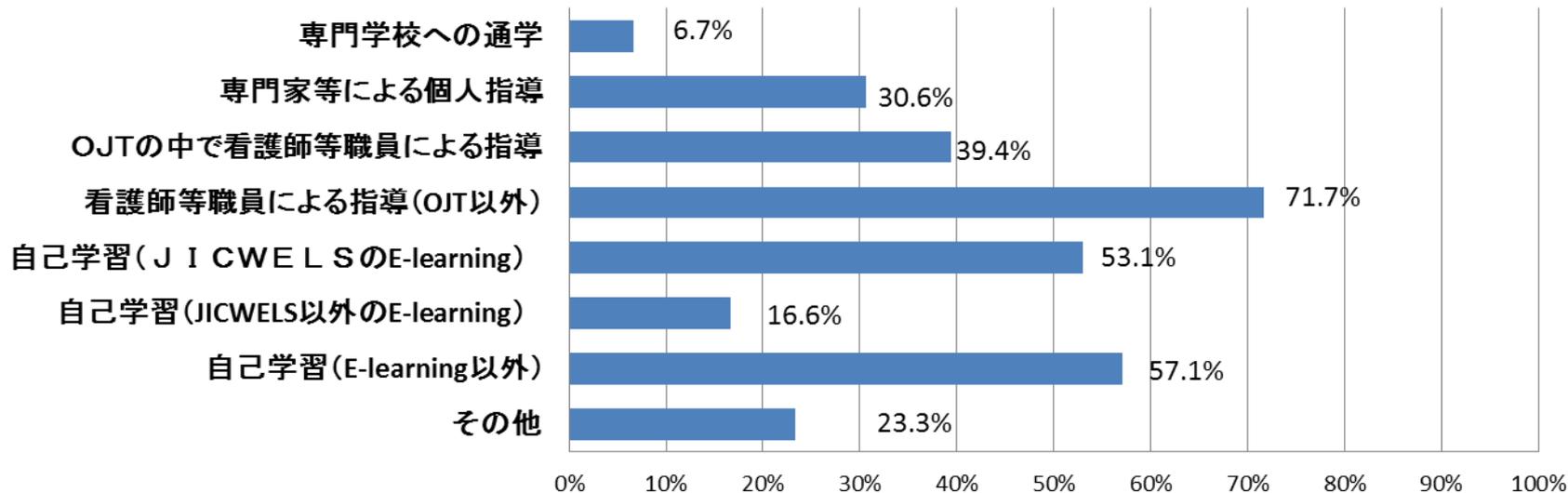
介護福祉士候補者



【出典】22年度巡回訪問(対象)介護福祉士候補者受入施設(202施設)(候補者465名)

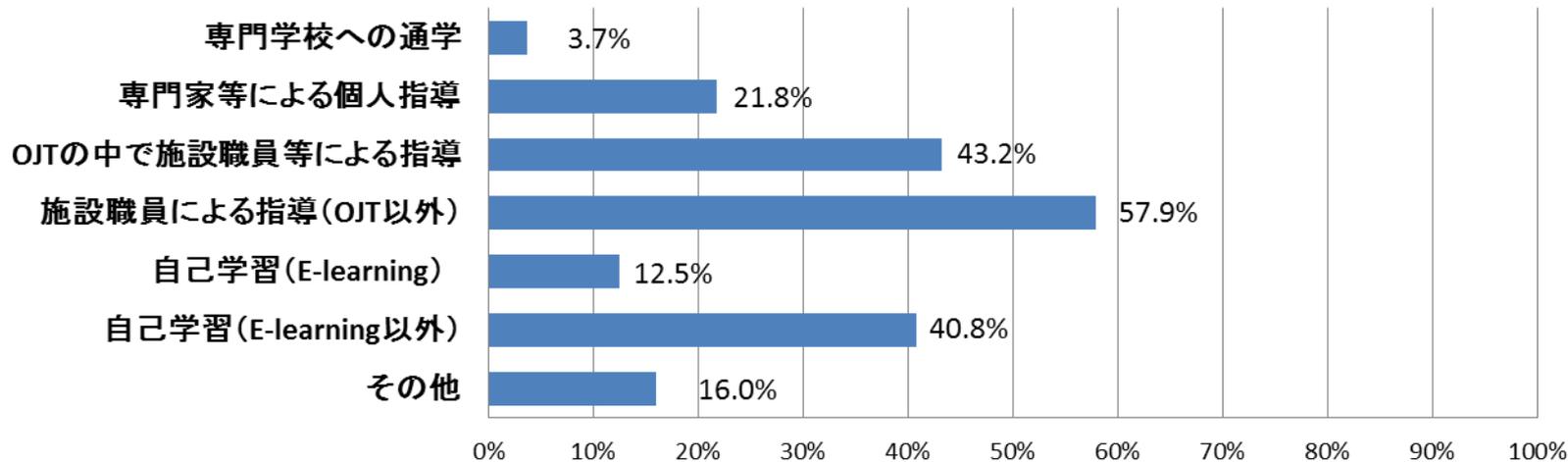
(5) 候補者の国家試験対策学習方法（研修責任者からの回答(複数回答)）

看護師候補者



【出典】22年度巡回訪問(対象)看護師候補者受入施設(146施設)(候補者343名)

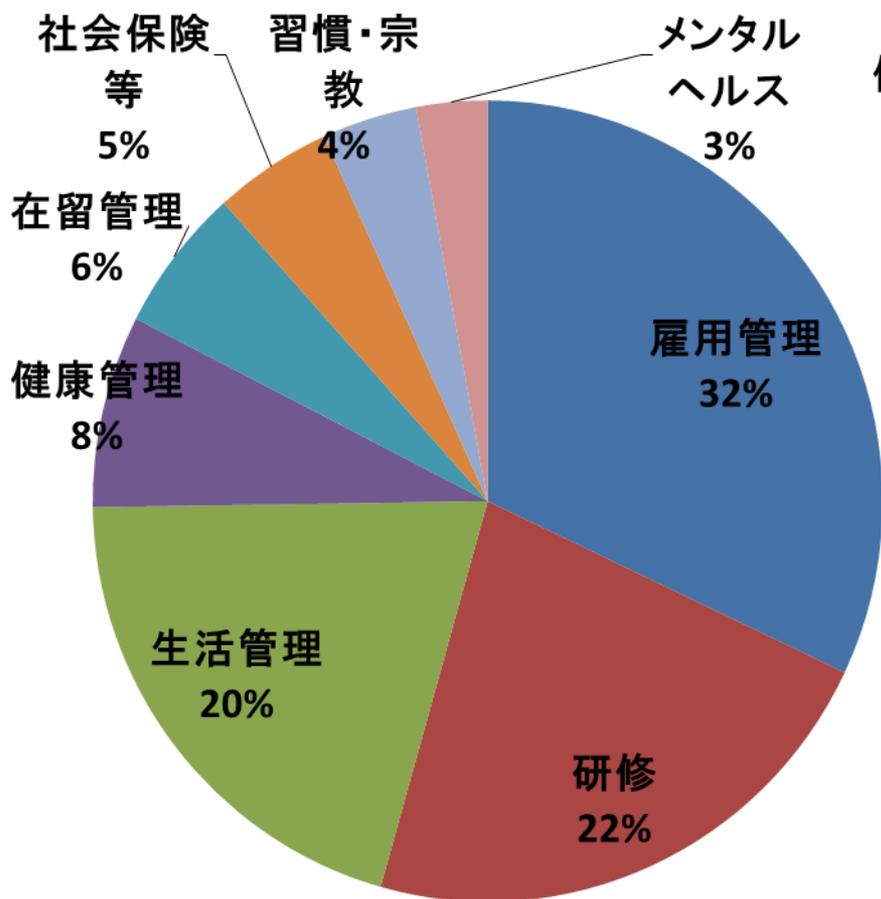
介護福祉士候補者



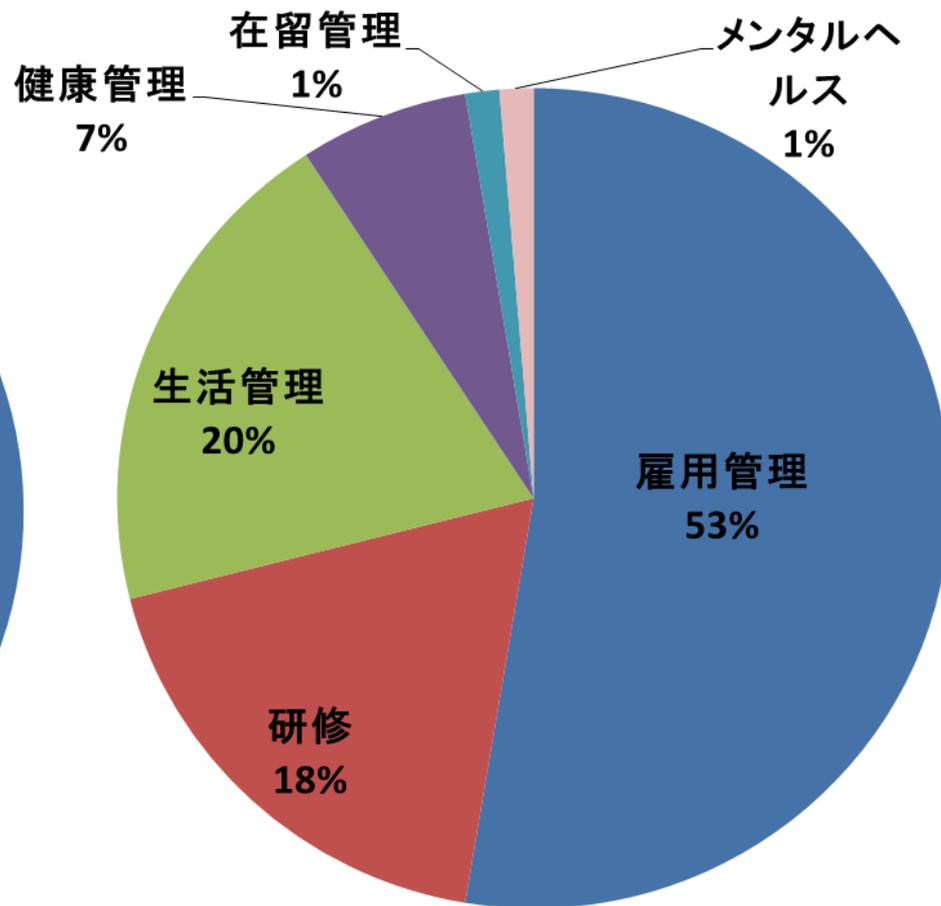
【出典】22年度巡回訪問(対象)介護福祉士候補者受入施設(202施設)(候補者465名)

5 平成22年度JICWELS相談窓口より(1) (主な相談項目について)

インドネシア



フィリピン



5-2 平成22年度JICWELS相談窓口より(2)

○「雇用管理」、「研修」、「生活管理」の主な相談

項目	主な相談内容
雇用管理	<ul style="list-style-type: none">・帰国対応・候補者への労働条件の通訳・処遇(賃金、有休等)の相談・勤務態度の相談
研修	<ul style="list-style-type: none">・学習意欲の相談・研修環境への要望・教材等の使い方
生活管理	<ul style="list-style-type: none">・一時帰国等の相談・生活態度等の相談・震災後の不安等の相談

※インドネシアでは、「宗教・習慣」に関する相談で、「断食中の入浴介助業務の対応方法」などがある。

6 受入れ施設からの主な要望等 (平成22年度巡回訪問での聴き取りより)

- 国家資格取得及び継続就労意思の強い候補者とのマッチング
- 就労開始時の日本語能力の向上
- 施設内研修の人的、経済的負担の軽減
- 他施設の取組み等の情報共有化
- 国家試験への配慮
- 人員配置基準への加算化(介護)、等

【参考】

平成23年度厚生労働省EPA関係予算(1)

平成23年度予算額

約7.9億円

(約8.7億円)

※()内は平成22年度予算額

1 看護・介護導入研修、巡回訪問等

1.5億円(1.5億円)

- (1) 看護・介護導入研修の実施
- (2) 受入施設巡回訪問の実施、相談窓口による相談対応
- (3) 過去の国家試験問題の翻訳（インドネシア語・英語）
- (4) 受入施設研修担当者会議の実施
 - 受入の好事例の発表
 - 施設同士の情報共有の場を提供

平成23年度厚生労働省EPA関係予算額(2)

2 看護師候補者受入施設に対する研修支援

2.2億円(3.7億円)

- (1) 受入施設での研修指導に対する支援 (自治体を通じての助成)
 - 1施設当たり29万5千円→46万1千円(増額)
- (2) 受入施設での日本語学習に対する支援 (自治体を通じての助成)
 - 候補者1人当たり11万7千円
- (3) 国家試験受験に向けた日本語能力・看護専門知識に関する学習支援
 - 継続的な自己学習を支援するためのeラーニングや学習教材の提供
 - 定期的な模擬試験や苦手分野等を補完するための集合研修の実施
 - eラーニング等を活用した学習専門家による個別学習指導

平成23年度厚生労働省EPA関係予算額(3)

3 介護福祉士候補者に対する学習支援

4. 2億円(3.5億円)

(1) 受入施設が行う候補者の学習に対する支援 (自治体を通じたの助成)

- 補助の対象を「日本語学習に必要な経費」から「候補者の学習全般」に拡充
- 候補者1人当たり年間23万5千円以内

(2) 効率的・効果的な日本語習得に関する支援

- 就労1年目及び2年目の候補者を対象
- 日本語学習を支援するための定期的な集合研修の実施

(3) 介護分野の専門的な知識等の習得に関する支援 (新規)

- 就労2年目及び3年目の候補者を対象
- 介護専門知識に関する通信添削指導の実施
- 介護専門知識・技術や日本の社会保障制度等を学ぶ集合研修の実施

ご清聴いただき
ありがとうございました。